

# なぜ“バリアフリー”なのか？

## ■人口減少・高齢化社会の到来

わが国の人口は、2010（平成22）年にピークに達した後、長期の人口減少過程に入ると予測されています（図1参照）。また、2025年には全人口の30%が、2050年頃には全人口の40%が65歳以上の高齢者となる本格的な高齢化社会を迎えようとしています（図2参照）。

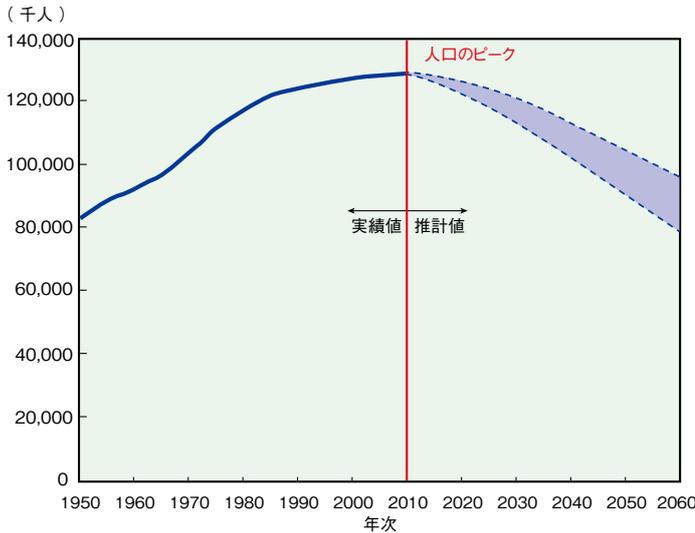


図1 総人口の推移

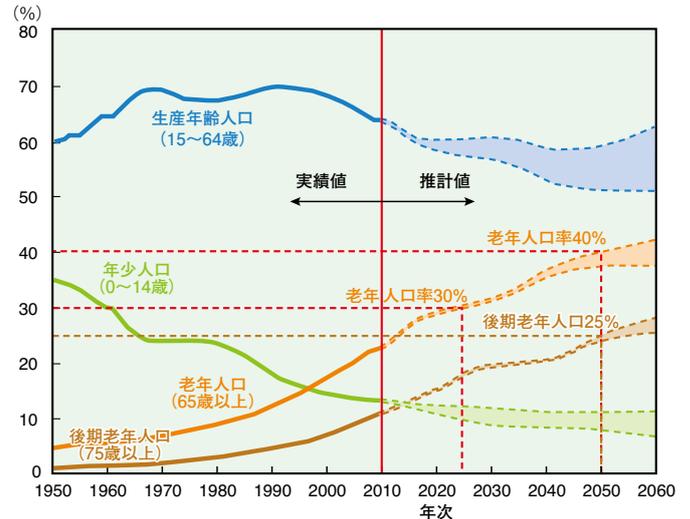


図2 年齢3区分別人口の推移

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

## ■体が不自由なのは、特別なことではありません

わが国には、約386万人もの身体障害者・身体障害児がいると推計されています（図3参照）。

誰もが永遠に健康なことはあり得ず、いつ何時、病気や事故で体が不自由になるかも知れません。体が不自由なことは、決して特別なことではないのです。

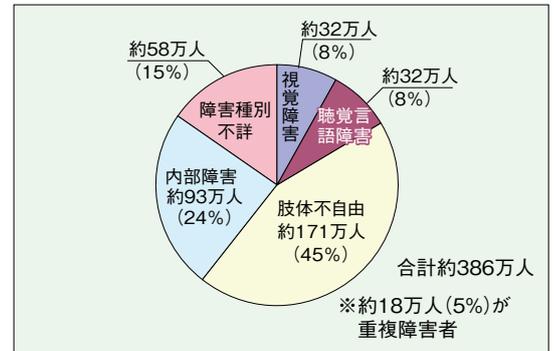


図3 身体障害者手帳所持者数・身体障害の種類別

資料：厚生労働省「平成23年生活のしづらさなどに関する調査」

## ■バリアフリー体験歩道の整備

視覚障害者、車いす使用者、高齢者等の疑似体験を通じて、バリアフリーの重要性、整備時の配慮事項等について体験しながら学習できます。

専門教育、体験学習、あるいは道路整備に関する合意形成の機会として、ぜひ有効に活用してください。

